

令和4年度

令和5年3月3日



Keyakizaka



川西市立けやき坂小学校
校長 平瀬 史明

早いもので、もう3月・弥生です。梅の花も咲きほころび、春を告げています。

3月17日（金）には、6年生129名が第34回卒業生として巣立の時を迎えます。卒業生並びに保護者の皆様に心からお祝いを申し上げますと共に、この6年間、子どもたちにご指導・ご支援いただきました多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。

遅くなりましたが、裏面に12月に実施しましたアンケート（児童・保護者）の集計結果を掲載しております。つきましては、以下にその考察と学校運営協議会（学校関係者評価）の意見を記載しています。



<児童アンケート結果について>

今年度も、およそ80%～90%を超える割合での肯定的意見が多くを占め、全体的には良好な結果となりました。特に、⑩と⑪と⑬の肯定的意見が95%程度であるように、相手のことを思いやりながら、みんなで協力して活動しようとする主体性と協調性が、子どもたちに育まれていることを大変うれしく思います。

また、⑬～⑮は、先生とのかかわり・児童の教師に対する評価になりますが、どの項目も肯定的意見が95%前後で推移しており、教師と子どもとの関係も良好であることがうかがえます。引き続き、子どもたち一人ひとりと向き合い、教職員が一丸となって教育活動を実践していきたいと思



います。

ところで、①②⑧については、肯定的意見が減少する結果となりました。

まず①については、否定的意見の児童が13.6%いることを踏まえ、児童の学習面⑥⑫や生活面及び人間関係⑩⑪⑮について注視しながら、一人ひとりの児童を大切にしたいと、学年担当教員を中心とした多面的・多角的なアセスメントによる児童理解により、行きたくない割合を減らしつつ、多くの児童が①「学校に行くのが楽しい」と思える学校を目指します。

続いて、②「すすんで挨拶をしている」と⑧の「自分の意見を発表している」については、否定的意見が経年で増加傾向であり、否定的な意見が②で18%、⑧ではおよそ30%となりました。

はじめの②については、マスク着用の影響も考えられますが、挨拶は、よりよい人間関係を築く基本であり、本校の生活のめあてでもあります。子どもたちには、挨拶の必要性を理解させ、お互いに「すすんで挨拶」ができるように、今後も指導を継続していきたいと思

います。

次の⑧「自分の意見を発表している」ということにおいては、新型コロナウイルス感染症対策の影響で授業スタイルに一方のスタイルが多かった影響も考えられます。⑥「勉強が分かる」⑦「授業や勉強に進んで取り組んでいる」⑨「授業中、先生や友達の話をしっかり聞いている」が、90%程度の良好な状況であることから、今後も、主体的・対話的で深い学びを実現する授業環境をめざし、子どもたちが「できる・わかる」と実感でき、自信をもって自己表現ができるよう、意見により練り上げる授業づくりやどの子も認め合う学級の雰囲気づくりに取り組んでいきたいと思

います。

次に、⑮「友達から嫌なことを言われたり、されたりしていない」の肯定的意見が85.4%となり、⑬「友達に嫌なことを言ったり、したりしていない」は96.7%でした。⑮については、学期ごとに行うアンケートにおいては、学年の後半になるほど肯定的意見が増加します。これは、日々の学校教育活動全体を通して、良好な人間関係を構築する教育活動が推進できていることと評価できます。一方、⑮15.0%⑬3.3%の否定的意見にも注目し、学級指導や個々の教育相談において自分たちの言動を振り返らせるとともに、いじめにつながっていないかも注視し、今後も子ども同士や子どもと教師及び周囲の人との良好な人間関係の構築に努めていきたいと思

<保護者アンケート結果について>

今年度、90%を超える肯定的な意見をいただき、全体的には増加傾向の良好な結果となりました。特に、①～⑦の項目（学校生活に関して）について、肯定的意見が経年で安定し、高評価をいただいていることを嬉しく思います。⑦「学校は、子どもの学力を適切に評価している」においては4%以上増加し98.2%の肯定的な意見をいただきました。また、⑪「子どもは、友だちや先生と好ましい関わりができています」が、3%以上増加しました。これらのことについては、今年度は学級懇談会が2回実施できた（過去2年間は実施できなかった）ことや、授業参観等で保護者の

みなさまに子どもたちの学校での様子を観ていただく機会が増えたことに伴い、個人懇談等も含め、学校と家庭が連携して子どもを育てる環境になってきたことが良い影響を与えたものと考えられます。ただ、児童アンケートの関連項目⑥⑦⑬⑭の否定的意見が5%～10%程度あることにも注目し、これらの結果を総合的にしっかりと受け止めて、さらに充実を図りたいと思います。特に、子ども個々への対応を丁寧にしていくとともに、教室が安心できる居場所となるよう、より一層の学級経営の充実を図りたいと考えます。

一方、⑥の「学校便りやホームページ等を通して、子どもの様子や学習の様子を知ることができる」の項目では、4.4%肯定的意見が減少しました。紙で印刷した学校便りの発行を取りやめた影響も少なからず考えられます。今後、ホームページへの掲載方法等内容も含め、学校からの情報に触れる機会を可能な限り活用し、より多くの保護者の方に理解してもらえるように工夫・改善に努めてまいります。

⑫～⑰の項目については、保護者の自己評価（家庭生活に関して）ですが、肯定的意見の増加傾向がみられました。特に、⑯「子どもの友だちや遊び場所を知っている」と⑰「何か起こったとき、安心して子どもを預けられる人が近くにいる」が微増する等、子どもへの安全管理への意識も安定していました。行政や民間の施策を利用する以外にも、子ども同士の人間関係の構築や広がりに応じ、家庭同士等保護者のみなさまもお互い何らかの形でつながっていただく手段も今後必要になるのかもしれません。

ところで、⑫「家庭の中の仕事で、子どもに任せているものがある」項目ですが、過去3年間でいずれにおいて80%に届きませんでした。子どもたちの自主性や責任感、自己有用感を育てるためにも、教育課程との連携を含め、もっと肯定的意見が増えるよう働きかけたいと思います。

これらアンケートの結果をみなさまと共有し、子どもたちの健やかな成長を目指し、今後もこの状況が維持改善できるよう学校全体で努力をしてまいります。

本校の校区である「けやき坂地区」では、この2年間で、統計上最も多い児童数という状況であり、ますます活気のある学校となります。その反面、人々の価値観も多様化しており、教育や子育てにおける課題も多様化してくるのではないかと考えます。それにはまず、人と人とがつながり、お互いを理解し、課題を共有し合うことから始まるのではないのでしょうか。

そこで、今回の児童・保護者アンケートの結果を基にして、学校における「教育活動の質」の更なる向上を図ると共に、家庭・地域とも連携し「子ども同士・保護者同士の横のつながり」を深め、学校と家庭が協働して取り組む「共育」を着実に進めていきたいと考えます。

＜学校評議員会の意見・学校関係者評価＞

- この3年間で、新型コロナウイルス感染症が子どもたちに大きく影響を及ぼしていることが分かる。表情から相手の気持ちを汲み取ったり、表情をみて話をしたり、顔をみて話す普通のコミュニケーションから人間関係を築き上げることがとても重要と考える。コロナ前の生活の良かったところは、再認識するところ。来年度からの学校内の生活スタイルの変化もみていきたい。
- 学校からの連絡はメールや紙での文書、ホームページ掲載が考えられるが、目的や内容及び時期等により、最もふさわしい方法を選んで発信してほしい。必ず伝えたいこと（知りたいこと）も多々あるため、ある程度情報の重複があってもかまわない。早くて正確な情報発信が大切である。
- 地域と学校が協働する場合、安全と防犯対策を基本に据え、名札、ベスト等それが周りにも視覚的にわかる形で対策を講じていきたい。
- 挨拶については、きっちりできるようこれからは啓発していきたい。また、自信をもって自分の意見が言える子どもたちに育てほしい。
- 子どもと教師の関係が指導上とても大切であると思う。今年度もアンケートをみると良い結果が出ているので、今後も良好な関係が保てるようにしたい。

《3月行事予定》 生活目標「学校をきれいにしよう」

- | | | |
|--------------------------|------------------|------------------|
| 1日（水）6年生お別れコンサート3h | 委員会活動30分 | 2日（木）アリーナ使用停止 |
| 2日（木）学校運営協議会（午前） | 6年生地域奉仕活動5h | 3日（金）入学説明会14:00～ |
| 6日（月）全校朝会 | 8日（水）おはなし広場 | 9日（木）6年生を送る会 |
| 10日（金）校外児童会5時間目集団下校・下校指導 | 13日（月）学校安全協力員交流会 | |
| 15日（水）6年給食最終日 | 16日（木）5年前日準備 | 1年～4年給食後下校 |
| 17日（金）第34回卒業式 | 20日（月）1～5年給食最終日 | |
| 22日（水）～12:25下校 | 23日（木）大掃除 | 24日（金）修了式 |

